

かじき図書館だより

平成26年度
1月号
TEL 62-2605

新年明けまして
おめでとうございます
本年もどうぞ
よろしく願いいたします



★12月7日に、とくもりおはなし会を開催しました★

アンデルセンについて、生い立ちや作品の特徴など、様々な方面からスポットをあてブックトークしました。

また、オスカー・ワイルドの「しあわせの王子」をオペラで



楽しみました。その素晴らしい歌声で表現される物語に、会場は感動に包まれました。



特別整理期間 休館のお知らせ

期間：平成26年1月27日(月)～2月4日(火)

蔵書点検を行うため休館します。しばらくの間、ご迷惑をおかけしますが、期間中は中央図書館及び蒲生公民館図書室、各地区公民館分室は、平常どおり開館いたしておりますのでご利用ください。

※本の返却については、加治木図書館返本箱及び他の市立図書館で返却できます。

1月14日～26日は貸出冊数を10冊に増冊します！

館内展示

赤紅朱丹

新年を祝って赤い表紙の本を揃えてみました！



赤は「情熱」「活気」など精神や物事の盛り上がりを表します。そんな赤色の本を集めて「素敵なお本との出会い」をお届けします。

○新着図書を紹介

----- 一般書 -----

- | | |
|------------------------|----------|
| *恋愛合格！太宰治のコトバ66 | 高野 てるみ |
| *薔薇とビスケット | 桐衣 朝子 |
| *みずは無間 | 六冬 和生 |
| *オリンポスの神々と7人の英雄3 アテナの印 | リックリオーダン |
| *たけお散歩 武雄市図書館公式ガイドブック | 中西 一雄 |
| *情報リテラシーOffice2013 | 杉本 くみ子 |
| *三谷幸喜創作を語る | 三谷 幸喜 |
| *グローバル化の憂鬱 | 藤原 正彦 |
| *ペテロの葬列 | 宮部 みゆき |

- 児童書 -----
- | | |
|-------------------|----------|
| *たまごから生まれたウマ | 谷 真介 |
| *てんじつきさわるえほんぐりとぐら | 中川 李枝子 |
| *わたしもいれて！ | 加古 里子 |
| *りきしのほし | 加藤 休ミ |
| *いろいろおりがみ | たるいし まこ |
| *チュンチェ 中国のおしょうがつ | ユイリージョン |
| *つくってあそぼう おまつりやたい | きうち かつ |
| *平野レミのおにぎりブック | 平野 レミ |
| *こやぶ医院は、なんでも科 | 柏葉 幸子 |
| *ローズマリーとヴィーナスの魔法 | あんびる やすこ |
| *バラの城のゆうれい | 斉藤 洋 |

鹿児島・あいら文化散歩

沖永良部の昔話 『馬の卵』

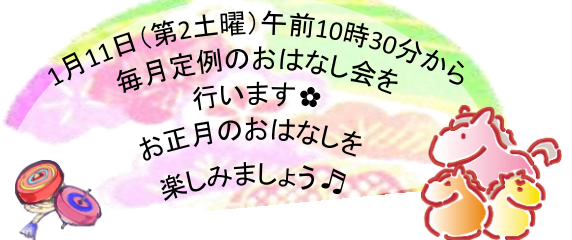
2014年の干支は「午(うま)」です。馬は古くから神の乗り物とされ、神事に使われていました。馬を奉納して安全を祈願する風習などもありましたが、費用が大変かかることから、これはしだいに馬の像や絵馬を奉納するようになりました。また、運搬や耕作、そして主に乗り物として重んじられてきました。

このように人間との付き合いが長いことから、馬が登場する昔話はとても多いです。『たまごから生まれたウマ』という絵本も、鹿児島県大島郡の沖永良部島の昔話『馬の卵』を原話に作られたものです。

「馬の卵」だと騙されてスイカを買ったおばあさん。家に帰って騙されたと気付いたおじいさんは、スイカを庭に投げつけてしまいます。すると、なんと割れたスイカの中から本当に馬が生まれてきます。そしてこの馬、たいへん働きものの馬だったので。さて、この馬が老夫婦に与えたものとは…。

原話も絵本も話の大筋は同じですが、原話がシンプルで現実的なのに対し、絵本は馬と老夫婦の絆が描かれたドラマチックなものになっています。

『たまごから生まれたウマ』谷真介 文 赤坂三好 絵 (校成出版社)
『沖永良部島昔話』岩倉市郎 著 (民間伝承の会)



1月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	★
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

★ …おはなし会